議案第2号

刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例
上記の議案を提出する。

令和7年3月3日提出

みよし市長 小 山 祐

説 明

この案を提出するのは、刑法の一部改正に伴い必要があるからである。

刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例

目次

第1章 関係条例の一部改正（第1条・第2条）

第2章 経過措置（第3条―第5条）

附則

第1章 関係条例の一部改正

（みよし市職員の給与に関する条例等の一部改正）

第1条 次に掲げる条例の規定中「禁錮」を「拘禁刑」に改める。

- (1) みよし市職員の給与に関する条例（昭和36年三好町条例第5号）第20条の2第3号及び第4号並びに第20条の3第1項第1号及び第3項第1号
- (2) みよし市非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例（昭和39年三好町条例第20号）第6条第1号
- (3) みよし市消防団条例（昭和45年三好町条例第4号）第6条第1号

（みよし市情報公開・個人情報保護審査会条例等の一部改正）

第2条 次に掲げる条例の規定中「懲役」を「拘禁刑」に改める。

- (1) みよし市情報公開・個人情報保護審査会条例（平成15年三好町条例第30号）第17条
- (2) みよし市まちづくり土地利用条例（平成15年三好町条例第31号）第53条
- (3) みよし市土砂等の埋立て等による土壌の汚染の防止に関する条例（平成16年三好町条例第3号）第37条
- (4) みよし市行政不服審査会条例（平成28年みよし市条例第2号）第12条
- (5) みよし市個人情報の保護に関する法律施行条例（令和5年みよし市条例第3号）附則第3条第3項及び第4項

第2章 経過措置

（罰則の適用等に関する経過措置）

第3条 この条例の施行前にした行為の処罰については、なお従前の例による。

- 2 この条例の施行後にした行為に対して、他の条例の規定によりなお従前の例によることとされ、なお効力を有することとされ又は改正前若しくは廃止前の条例の規定の例によることとされる罰則を適用する場合において、当該罰則に定める刑に刑法等の一部を改正する法律（令和4年法律第67号。以下「刑法等一部改正法」という。）第2条の規

定による改正前の刑法（明治40年法律第45号。以下この項において「旧刑法」という。）第12条に規定する懲役（以下「懲役」という。）（有期のものに限る。以下この項において同じ。）、旧刑法第13条に規定する禁錮（以下「禁錮」という。）（有期のものに限る。以下この項において同じ。）又は旧刑法第16条に規定する拘留（以下「旧拘留」という。）が含まれるときは、当該刑のうち懲役又は禁錮はそれぞれその刑と長期及び短期を同じくする有期拘禁刑と、旧拘留は長期及び短期を同じくする拘留とする。

（人の資格に関する経過措置）

第4条 拘禁刑又は拘留に処せられた者に係る他の条例の規定によりなお従前の例によることとされ、なお効力を有することとされ又は改正前若しくは廃止前の条例の規定の例によることとされる人の資格に関する法令の規定の適用については、無期拘禁刑に処せられた者は無期禁錮に処せられた者と、有期拘禁刑に処せられた者は刑期を同じくする有期禁錮に処せられた者と、拘留に処せられた者は刑期を同じくする旧拘留に処せられた者とみなす。

（みよし市職員の給与に関する条例の一部改正に伴う経過措置）

第5条 刑法等一部改正法及び刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係法律の整理等に関する法律（令和4年法律第68号）並びにこの条例の施行前に犯した禁錮以上の刑（死刑を除く。）が定められている罪につき起訴をされた者は、第1条の規定による改正後のみよし市職員の給与に関する条例第20条の3第1項（第1号に係る部分に限る。）及び第3項（第3号に係る部分に限る。）の規定の適用については、拘禁刑が定められている罪につき起訴をされた者とみなす。

附 則

この条例は、令和7年6月1日から施行する。

みよし市職員の給与に関する条例の一部改正新旧対照表（第1条関係）

改正案	現行
<p>(期末手当)</p> <p>第20条 略</p> <p>第20条の2 次の各号のいずれかに該当する者には、前条第1項の規定にかかわらず、当該各号の基準日に係る期末手当（第4号に掲げる者にあつては、その支給を一時差し止めた期末手当）は、支給しない。</p> <p>(1)及び(2) 略</p> <p>(3) 基準日前1箇月以内又は基準日から当該基準日に対応する支給日の前日までの間に離職した職員（前2号に掲げる者を除く。）で、その離職した日から当該支給日の前日までの間に<u>拘禁刑</u>以上の刑に処せられたもの</p> <p>(4) 次条第1項の規定により期末手当の支給を一時差し止める処分を受けた者（当該処分を取り消された者を除く。）で、その者の在職期間中の行為に係る刑事事件に関し<u>拘禁刑</u>以上の刑に処せられたもの</p> <p>第20条の3 任命権者は、支給日に期末手当を支給することとされていた職員で当該支給日の前日までの間に離職したものが次の各号のいずれかに該当する場合は、当該期末手当の支給を一時差し止めることができる。</p> <p>(1) 離職した日から当該支給日の前日までの間に、その者の在職期間中の行為に係る刑事事件に関して、その者が起訴（当該起訴に係る犯罪について<u>拘禁刑</u>以上の刑が定められているもの）に限り、刑事訴訟法（昭和23年法律第131号）第6編に規定する略式手続によるものを除く。第3項において同じ。）をされ、その判決が確定していない場合</p> <p>(2) 略</p> <p>2 略</p> <p>3 任命権者は、一時差止処分について、次の各号のいずれかに該当するに至った場合には、速やかに当該一時差止処分を取り消さなければならない。ただし、第3号に該当する場合において、一時差止処分を受けた者がその者の在職期間中の行為に係る刑事事件に関し現に逮捕されているときその他これを取り消すことが一時差止処分の目的に明らかに反すると認めるときは、この限りでない。</p> <p>(1) 一時差止処分を受けた者が当該一時差止処分の理由となった行為に係る刑事事件に関し<u>拘禁刑</u>以上の刑に処せられなかった場合</p> <p>(2)以下 略</p> <p>4以下 略</p>	<p>(期末手当)</p> <p>第20条 略</p> <p>第20条の2 同左</p> <p>(1)及び(2) 略</p> <p>(3) 基準日前1箇月以内又は基準日から当該基準日に対応する支給日の前日までの間に離職した職員（前2号に掲げる者を除く。）で、その離職した日から当該支給日の前日までの間に<u>禁錮</u>以上の刑に処せられたもの</p> <p>(4) 次条第1項の規定により期末手当の支給を一時差し止める処分を受けた者（当該処分を取り消された者を除く。）で、その者の在職期間中の行為に係る刑事事件に関し<u>禁錮</u>以上の刑に処せられたもの</p> <p>第20条の3 同左</p> <p>(1) 離職した日から当該支給日の前日までの間に、その者の在職期間中の行為に係る刑事事件に関して、その者が起訴（当該起訴に係る犯罪について<u>禁錮</u>以上の刑が定められているもの）に限り、刑事訴訟法（昭和23年法律第131号）第6編に規定する略式手続によるものを除く。第3項において同じ。）をされ、その判決が確定していない場合</p> <p>(2) 略</p> <p>2 略</p> <p>3 同左</p> <p>(1) 一時差止処分を受けた者が当該一時差止処分の理由となった行為に係る刑事事件に関し<u>禁錮</u>以上の刑に処せられなかった場合</p> <p>(2)以下 略</p> <p>4以下 略</p>

みよし市非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例の一部改正新旧対照表（第1条関係）

改正案	現行
<p>(退職報償金支給の制限)</p> <p>第6条 退職報償金は、次の各号の一に該当する者に対しては支給しない。</p> <p>(1) <u>拘禁刑</u>以上の刑に処せられた者</p> <p>(2)以下 略</p>	<p>(退職報償金支給の制限)</p> <p>第6条 同左</p> <p>(1) <u>禁錮</u>以上の刑に処せられた者</p> <p>(2)以下 略</p>

みよし市消防団条例の一部改正新旧対照表（第1条関係）

改正案	現行
<p>(欠格条項)</p> <p>第6条 次の各号のいずれかに該当する者は、団員となることはできない。</p> <p>(1) <u>拘禁刑</u>以上の刑に処せられ、その執行を終わるまでの者又はその執行を受けることがなくなるまでの者</p> <p>(2)以下 略</p>	<p>(欠格条項)</p> <p>第6条 同左</p> <p>(1) <u>禁錮</u>以上の刑に処せられ、その執行を終わるまでの者又はその執行を受けることがなくなるまでの者</p> <p>(2)以下 略</p>

みよし市情報公開・個人情報保護審査会条例の一部改正新旧対照表（第2条関係）

改正案	現行
<p>(罰則)</p> <p>第17条 第5条第3項の規定に違反して秘密を漏らした者は、1年以下の<u>拘禁刑</u>又は50万円以下の罰金に処する。</p>	<p>(罰則)</p> <p>第17条 第5条第3項の規定に違反して秘密を漏らした者は、1年以下の<u>懲役</u>又は50万円以下の罰金に処する。</p>

みよし市まちづくり土地利用条例の一部改正新旧対照表（第2条関係）

改正案	現行
<p>第8章 罰則</p> <p>第53条 次の各号の一に該当する者は、6月以下の<u>拘禁刑</u>又は50万円以下の罰金に処する。</p> <p>(1)以下 略</p>	<p>第8章 罰則</p> <p>第53条 次の各号の一に該当する者は、6月以下の<u>懲役</u>又は50万円以下の罰金に処する。</p> <p>(1)以下 略</p>

みよし市土砂等の埋立て等による土壌の汚染の防止に関する条例の一部改正新旧対照表（第2条関係）

改正案	現行
<p>(罰則)</p> <p>第37条 次の各号のいずれかに該当する者は、1年以下の<u>拘禁刑</u>又は100万円以下の罰金に処する。</p> <p>(1)以下 略</p>	<p>(罰則)</p> <p>第37条 次の各号のいずれかに該当する者は、1年以下の<u>懲役</u>又は100万円以下の罰金に処する。</p> <p>(1)以下 略</p>

みよし市行政不服審査会条例の一部改正新旧対照表（第2条関係）

改正案	現行
<p>(罰則)</p> <p>第12条 第6条（第9条第4項において準用する場合を含む。）の規定に違反して秘密を漏らした者は、1年以下の<u>拘禁刑</u>又は50万円以下の罰金に処する。</p>	<p>(罰則)</p> <p>第12条 第6条（第9条第4項において準用する場合を含む。）の規定に違反して秘密を漏らした者は、1年以下の<u>懲役</u>又は50万円以下の罰金に処する。</p>

みよし市個人情報の保護に関する法律施行条例の一部改正新旧対照表（第2条関係）

改正案	現行
<p>附 則 （みよし市個人情報保護条例の廃止に伴う経過措置）</p> <p>第3条 1及び2 略</p> <p>3 次に掲げる者が、正当な理由がないのに、この条例の施行前において旧実施機関が保有していた個人の秘密に属する事項が記録された旧条例第2条第6号に規定する個人情報ファイルであって同号アに係るもの（その全部又は一部を複製し、又は加工したものを含む。）をこの条例の施行後に提供したときは、2年以下の<u>拘禁刑</u>又は100万円以下の罰金に処する。</p> <p>(1)以下 略</p> <p>4 前項各号に掲げる者が、その業務に関して知り得たこの条例の施行前において旧実施機関が保有していた旧保有個人情報をこの条例の施行後に自己若しくは第三者の不正な利益を図る目的で提供し、又は盗用したときは、1年以下の<u>拘禁刑</u>又は50万円以下の罰金に処する。</p> <p>5 略</p>	<p>附 則 （みよし市個人情報保護条例の廃止に伴う経過措置）</p> <p>第3条 1及び2 略</p> <p>3 次に掲げる者が、正当な理由がないのに、この条例の施行前において旧実施機関が保有していた個人の秘密に属する事項が記録された旧条例第2条第6号に規定する個人情報ファイルであって同号アに係るもの（その全部又は一部を複製し、又は加工したものを含む。）をこの条例の施行後に提供したときは、2年以下の<u>懲役</u>又は100万円以下の罰金に処する。</p> <p>(1)以下 略</p> <p>4 前項各号に掲げる者が、その業務に関して知り得たこの条例の施行前において旧実施機関が保有していた旧保有個人情報をこの条例の施行後に自己若しくは第三者の不正な利益を図る目的で提供し、又は盗用したときは、1年以下の<u>懲役</u>又は50万円以下の罰金に処する。</p> <p>5 略</p>